

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 寺津地域内の住宅団地開発の件ですが、以前の御説明ですと、今年6月ごろに住宅供給公社から回答があるとお話でした。現在の進捗状況等についてお伺いします。</p> <p>また、芳賀タウンから寺津まで通る「スポーツロード」（仮称芳賀寺津線）整備の件と併せてお知らせください。</p>	<p>都市計画課 建設課</p>	<p>昨年度、寺津地区振興会議の皆さんから、寺津小学校南側に住宅団地を開発してほしい旨の要望をいただきました。これを受け、市が山形県住宅供給公社に宅地開発基本調査を委託したところ、軟弱地盤対策による事業費の増加を要するとの課題が報告されました。</p> <p>また、今年3月に実施した埋蔵文化財の試掘調査では、遺構や土器片が発見されたため、宅地造成前に埋蔵文化財の発掘調査が必要となる可能性が高く、事業費がさらに増加すると想定されます。</p> <p>しかしながら、寺津地域における人口減少などの現状を鑑みれば、何らかの定住促進対策を講じる必要があると考えており、現在は、住宅団地の整備について、場所の変更や事業の見直しも含めて、その可能性について改めて検討しているところです。</p> <p>先般、寺津地区振興会議の役員の方々に、新たな住宅団地開発の手法として、社会的な課題となっている空き家の敷地を活用した開発について提案したところ、御了解をいただくとともに、引き続き、住宅団地開発について検討してほしいとのことでした。</p> <p>寺津地域の皆さんからは、住宅供給公社での事業を要望いただいております。空き家の敷地を活用した開発も、住宅供給公社に依頼している状況です。今回の取組みについては、地域の皆さんから一定</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>の評価をいただいたと思っておりますが、振興会議の皆さんからは、特に、子育て世帯への優遇措置の要望がありましたので、今後、皆さんと知恵を出し合いながら取組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、スポーツロード（(仮称)市道芳賀寺津線）については、路線の整備により芳賀タウンの商業施設が間近に感じられるなど、誘因の効果が期待されます。現在のところ整備時期は決まっていますが、今後も整備に向け検討してまいります。御理解をお願いします。</p>
<p>② 寺津地域は農業振興地域ということで、市街化調整区域となっています。住宅を建てるにも様々な条件があり、住宅建築の許可が下りるまでも時間を要します。そのため、県道沿いの土地については一定幅を白抜き化してほしいです。</p>	<p>農林課 農業委員会 都市計画課</p>	<p>現在の法律の中では、一定幅を一律に農振農用地区域から除外（白抜き化）することができない状況です。そのため、農振農用地区域外の土地に連担する土地であれば、場所によっては農振農用地区域から除外（白抜き化）の可能性があります。場所を見極めながら検討してまいりますので、御相談いただきたいと思います。</p>
<p>③ 住宅団地の整備は、寺津地域の存続に関わる待ったなしの課題であります。もともと寺津地域としての考えは、第一期分譲で25戸、第二期分譲でも25戸、合計50戸の住宅団地開発を考えていましたが、空き家の敷地を活用しても、そのような戸数を確保できるのでしょうか。また、その計画は、どのようなスケジュールで進められるのかお聞きします。</p>	<p>都市計画課</p>	<p>現在、寺津地域にある約1,500平方メートルの空き家の敷地を6～7戸に分譲したいと考えています。分譲に当たっては、子育て世代が買い求めやすい分譲価格帯となるようモデルケースとして検討を行っています。今回のケースが順調に進めば、寺津地域内の他の空き家の土地でも事業化の展開を考えているところです。</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>今後のスケジュールについては、地権者との調整を進めながら、県住宅供給公社と事業化を協議しているところです。</p>
<p>④ 私も後期高齢者になり、あと数年もすれば自動車運転免許証を自主返納しなければならない年になると思っています。しかし、免許証を自主返納してしまうと、寺津地域には店や医療機関がないため、生活が大変になります。これは寺津地域に限らず、周辺集落でも同じだと思います。今すぐ効果的な対応は難しいと思いますが、数年先を見据えて、行政には、今のうちから高齢者の足の確保について準備を進めてほしいと思います。</p> <p>近年、高齢者の痛ましい交通事故が多発しています。高齢者が運転免許証を返納しても、移動手段がないと返納する方も多くならないと思いますから、自主返納した高齢者には、毎年、タクシー券をプレゼントするなどもアイデアの1つになるのではないのでしょうか。御検討をお願いします。</p>	<p>生活環境課</p>	<p>高齢者など交通弱者の移動手段の確保は重要な課題であります。市が実施している予約制乗合タクシー「ドモス」については、2年ごとに見直しを行い、利便性の確保に努めています。</p> <p>寺津地域においては、区域乗合い型で、普通のタクシーと同様に、自宅に迎えに行き、医療機関や店舗などの指定目的地まで送り届けるサービスになっていきますので、ぜひご利用いただきたいと思います。</p> <p>公共交通の現状としては、バスやタクシーの運転手不足や高齢化、労働環境の改善などの様々な課題もあり、大幅な見直しを行うのは困難ですが、皆さんと一緒に使いやすいサービスになるよう努めていかなければならないと考えていますので、御理解をお願いします。</p> <p>御提案をいただきました高齢者へのタクシー券配布については、財政負担の増大や福祉タクシー券など他の支援制度との整合を図るなど、様々な課題があります。基本的には、現在のドモスを使いやすいサービスにしていくことが大事だと考えています。</p>
<p>⑤ 寺津地域の魅力がなくなっているため、地域の人口も子どもの数が減ってきています。また、結</p>	<p>市長公室</p>	<p>現在、市単独では婚活イベントを実施していませんが、他団体等と連携しながら様々な婚活活動</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>婚年齢が高齢化しているようです。寺津地域で婚活イベント等を開催する予定はあるのでしょうか。</p> <p>以前、田麦野地域などで婚活イベントが開催されたと耳にしました。また、市内に住んでいる人でも、「寺津には行ったことがない」ということを聞きます。寺津地域で住宅団地を整備する計画が進行しているようですので、寺津地域で婚活イベントを行う際に、住宅団地整備の宣伝も合わせてできるのではないのでしょうか。</p>		<p>の支援を行っています。</p> <p>例えば、市が会員となっている「むらやま広域婚活事業実行委員会」では、村山管内の広域で婚活イベントを実施しています。その一つとして、天童高原でそば打ちをしながら、婚活を行う体験型の婚活イベントが行われています。今後、「むらやま広域婚活事業実行委員会」に、寺津地域での婚活イベント開催についての要望を伝えてまいります。</p> <p>また、市では市内の団体が婚活イベントを実施する際は、10万円を上限に支援していますので、御利用いただきたいと思います。</p>
<p>⑥ 寺津地区の収容避難場所は高揃小学校や第三中学校などになっています。一時避難場所は寺津小学校や市立寺津公民館になっていますが、そこからの移動手段について、市はどのように考えていますか。バスなどが出るのでしょうか。それとも自家用車で移動するのでしょうか。</p>	<p>危機管理室</p>	<p>災害時の一時避難場所と避難所につきましては、地震、洪水、土砂災害の災害区分に応じてそれぞれ指定しています。寺津地区の洪水の一時避難場所及び避難所については、高揃小学校と高揃公民館、第三中学校になっています。寺津小学校と寺津公民館は地震の一時避難場所及び避難所になっていますので、基本的にそこからの移動はありません。</p> <p>なお、災害発生時は自主防災会等で計画する一時避難場所やより安全な場所に避難することになります。避難する場合は地域で声を掛け合ってください、早め早めの行動をお願いします。</p>
<p>⑦ 天童市内には、天童高等学校と創学館高等学校の2つの高等学校があります。いずれの学校も、天童市内の多くの中学生が進学し</p>	<p>学校教育課</p>	<p>市内の中学校と高等学校との連携の一つとして、毎年、市子ども育成会連合会主催で「ジュニアリーダー研修会」を行っています。</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ていて、人間将棋や天童夏まつりなど市をあげた一大イベントに参加したり、高齢者の方へ手作りライトをプレゼントしたりするなど、地域と様々な関わりがあります。</p> <p>ところが、地域活動に取り組む高校生と地元中学生との関わりは薄いように感じます。そのため、地域の高校生や中学生、小学生が地域の特徴や魅力を紹介するマップづくりなどの共同作業をとおして、高校、中学、小学校の連携を図ってはいかがでしょうか。</p> <p>市内または市外でこのような事例がありましたら御紹介いただけないでしょうか。また、教育長の豊富な経験を活かして今後の新たな取組みなどのお考えがありましたらお伺いしたいと思います。</p>		<p>す。この研修会は、50年以上継続開催しており、市内4つの中学校の生徒会メンバーと高校生ボランティアのメンバーが、いじめ問題を核にしながら、どのような学校づくりを進めるか話し合い、それぞれの学校の生徒会活動に活かしていくことを目的としています。また、中学生の各種部活動の大会に高校生ボランティアとして参加して、交流も深めています。</p> <p>さらに、長岡小学校では、電気の学習をする際に、創学館高等学校の生徒を、ダンスの授業の際に、羽陽学園短期大学の学生をゲストティーチャーとして招待しています。第三中学校吹奏楽部では、創学館高等学校に所属するOBとの交流が続いており、将来は合同コンサートを開催する話も出ているようです。</p> <p>今後もこのような地域の取組みを広げていければと思います。</p>
<p>⑧ 昨今の少子高齢化の影響もあると思いますが、市内でも人手不足に悩んでいる会社があるようです。農業分野では、寺津地域内においても、さくらんぼやラ・フランスの生産者が少なくなり、「特産品」と言えるほどの生産量を確保できなくなるのではないかと心配しています。</p> <p>今年のさくらんぼの収穫期には、果樹園から外国語を耳にすることがありました。また、先日のニュース番組では、天童温泉の旅</p>	<p>農林課 商工観光課</p>	<p>現在、全国的に様々な業種において労働力確保に向けた取組みが進められ、本市においても労働力確保に取り組んでおります。</p> <p>農業については、さくらんぼシーズン中に市とJAが連携して、仙台市からの学生ボランティアに対する交通費の助成や県外からの労働者に対する宿泊費助成などを行っています。</p> <p>また、子育て中の母親等にチラシ等を配布して人手確保に取り組んでいます。</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>館が、外国人の派遣労働者を活用したいと話していました。</p> <p>働き手の確保は、それぞれの会社や事業主が自ら取り組むことが第一だと思いますが、天童市として取り組んでいることがあれば、御紹介いただきたいと思います。</p>		<p>商工業については、平成28年2月17日に、本市と山形労働局が締結した「雇用対策協定」に基づき、相互連携して、市内事業所における安定した雇用の確保に取り組んでいます。具体的には、事業所の求人についての助言を行う「雇用支援専門員」を配置して、雇用と求人のマッチングに取り組んでいるほか、パルテにおける「就職面接会」の開催、子育て中の求職者を対象とした「げんキッズ出張相談」などを行っています。</p> <p>市としましては、引き続き、各機関等と連携しながら、労働力確保に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>⑨ 昨年のまちづくり懇談会で、寺津と山寺の関係についてもお聞きしたところ、「県からの回答は、寺津と山寺のつながりは確認されません。」ということでした。</p> <p>しかし、今年の春に「山寺ウルトラマラソン」という大会が開催され、そのルートに寺津が入っていました。山寺に縁のあるコースを走るマラソン大会だと思うので、私の持論「寺津は山寺の津(港)」が証明されたと感じました。</p> <p>また、舟運で寺津まで運んできた仏像を、山形市中野目から高掬、そして山寺へ行く予定にもかかわらず、中野目で降ろされたままになっている話が残っています。そのような歴史を調べていただけれ</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>今年4月21日に山寺を中心に開催された「山寺ウルトラマラソン」は、昨年5月に「山寺が支えた紅花文化」が認定されたことに伴い、人口交流の拡大や地域活性化に結びつけるために実施されたようです。また、コースの選定については、主催者側から、有識者のアドバイスやランナーの安全等を考慮し、本市の寺津、高掬、荒谷地域にあるサイクリングロードを選定したとお聞きしました。寺津の地名の由来や、地域内の数多くの貴重な資料等について、市としても協力してまいりますので、地域づくり委員会などを中心に、歴史を辿り、話題を共有しながら調査・研究し、その情報を、市内外へ発信していただき</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ば、寺津と山寺の関係が明らかになり、地域の財産になると思いますので、よろしく願います。</p> <p>また、寺津は舟運が盛んで大型舟が両岸にあっても、真ん中を通行できるほどの川幅があったようです。江戸幕府からは「河岸」の認可をいただいた事実もあります。それなのに寺津地域内の舟町には「河岸」ではなく「舟着場」と表記された看板があります。「河岸」と「舟着場」は全く違うものですので、改める考えがあるのかお伺いします。</p>		<p>たいです。</p> <p>なお、寺津地域内の船町にある解説板「寺津船着場」については、市民の方に解りやすい表記としています。そのため、「寺津河岸」については、解説の中で説明していますので、御理解をお願いします。</p>
<p>⑩ 高等学校との関わりについてですが、天童高等学校には、以前と変わって、現在は総合学科が設置されています。そのような情報を中学3年生になってから知るのではなく、2年生の夏休みの前後に教えていただければと思います。総合学科と言われても、親は説明できません。可能であれば、天童高等学校の総合学科ではこんなことをしているとか、創学館高等学校ではこんなものづくりをしているという学校の様子を、中学生が高校生から直接聞ければいいと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>御指摘いただいた件は、いわゆる「キャリア教育」に位置付けられるものであります。キャリア教育とは、自分の進路をどう考え、どうつくっていくのかという教育の一環で、市内全ての中学生が取り組んでいます。</p> <p>具体的には、中学1年生から高等学校のパンフレット等を基に、校風や学科、部活動などについての「高校調べ」をします。また、2年生の5月には、「職場体験」の取り組みを通して、自分の将来の夢を実現するために適した方向性について、理解を深める学習を取り入れているところです。なお、各高等学校では、オープンスクールや学校説明会が開催されていますので、興味のある生徒には積極的に参加を促しています。</p> <p>こうした取り組みを通して天童高等学校や創学館高等学校につ</p>

寺津まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

寺津地域

令和元年8月5日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		いての理解は深まっていると考えています。今後も、校長会等で各中学校の状況を確認しながら、卒業生との交流会についても検討していきたいと思います。